令和7年度熊本大学個別学力検査(前期日程)【数学②】 解答例

(解答例)

数 学 ②

(数学 I・数学 II・数学 A・数学 B・数学 C)

理学部,医学部(保健学科放射線技術科学専攻,検査技術科学専攻),薬学部,工学部 情報融合学環(理系型) 1 (問 1)

$$z_{n+1} = (1+i)z_n + (2+i)\overline{z_n}$$
 (1)

の両辺の共役を取って

$$\overline{z_{n+1}} = (1-i)\overline{z_n} + (2-i)z_n \tag{2}$$

を得る。式(1),(2)を辺々加えると

$$z_{n+1} + \overline{z_{n+1}} = 3z_n + 3\overline{z_n}$$

すなわち

$$\alpha_{n+1} = 3\alpha_n$$

を得る。 $\alpha_1 = z_1 + \overline{z_1} = 2$ なので、 $\alpha_n = 2 \cdot 3^{n-1}$.

(間 2)

$$\beta_{n+1} = (2-i)z_{n+1} - (2+i)\overline{z_{n+1}}$$

$$= (2-i)\{(1+i)z_n + (2+i)\overline{z_n}\} - (2+i)\{(1-i)\overline{z_n} + (2-i)z_n\}$$

$$= \{(2-i)(1+i) - (2+i)(2-i)\}z_n + \{(2-i)(2+i) - (2+i)(1-i)\}\overline{z_n}$$

$$= -(2-i)z_n + (2+i)\overline{z_n} = -\beta_n$$

 $\beta_1 = -2i \, \text{GOT}, \ \beta_n = (-1)^n \cdot 2i.$

(問 3)

$$z_n = \frac{1}{4} \left\{ (2+i)\alpha_n + \beta_n \right\} = \frac{1}{4} \left\{ (2+i) \cdot 2 \cdot 3^{n-1} + (-1)^n \cdot 2i \right\}$$
$$= 3^{n-1} + \frac{1}{2} \left\{ 3^{n-1} + (-1)^n \right\} i$$

|2| (問 1) 点 (t,t^2) における C の接線は

$$y = 2tx - t^2 \tag{3}$$

これが点 (0,-4) を通るのは $t = \pm 2$ のとき。よって

$$\ell_1: y = 4x - 4, \qquad \ell_2: y = -4x - 4.$$

対称性より, 求める面積は

$$2\int_0^2 \left\{ x^2 - (4x - 4) \right\} dx = 2\left[\frac{1}{3}x^3 - 2x^2 + 4x \right]_0^2 = 2\left(\frac{8}{3} - 8 + 8 \right) = \frac{16}{3}.$$

(問 2) 式 (3) より,a=2t, $b=-t^2=-a^2/4$ と分かる。y=ax+b と x 軸との交点の x 座標は x=-b/a=a/4 である。C,x 軸, ℓ で囲まれる部分の面積は

$$\int_0^{a/2} x^2 \, dx - \frac{1}{2} \cdot \frac{a}{4} \cdot \frac{a^2}{4} = \frac{a^3}{96}$$

である。 $a^3/96=16/3$ より $a^3=16\times 32=2^9$ で, $a=2^3=8$ となる。また,b=-16 となる。

(問 3) 接線 (3) が点 (p,q) を通るのは, $q=2tp-t^2$,すなわち, $t=p\pm\sqrt{p^2-q}$ のとき。

$$t_1 = p + \sqrt{p^2 - q}, \qquad t_2 = p - \sqrt{p^2 - q}$$

とおく。 C, m_1, m_2 で囲まれる部分の面積は

$$\int_{t_2}^{p} \{x^2 - (2t_2x - t_2^2)\} dx + \int_{p}^{t_1} \{x^2 - (2t_1x - t_1^2)\} dx = \int_{t_2}^{p} (x - t_2)^2 dx + \int_{p}^{t_1} (x - t_1)^2 dx$$

$$= \left[\frac{1}{3}(x - t_2)^3\right]_{t_2}^{p} + \left[\frac{1}{3}(x - t_1)^3\right]_{p}^{t_1} = \frac{1}{3}(p - t_2)^3 - \frac{1}{3}(p - t_1)^3 =$$

$$= \frac{1}{3}(t_1 - t_2) \left\{ (p - t_2)^2 + (p - t_2)(p - t_1) + (p - t_1)^2 \right\}$$

$$= \frac{1}{3}(t_1 - t_2) \left\{ 3p^2 - 3p(t_1 + t_2) + (t_1^2 + t_1t_2 + t_2^2) \right\}$$

$$= \frac{2}{3}\sqrt{p^2 - q} \left\{ 3p^2 - 3p \cdot 2p + (4p^2 - q) \right\} = \frac{2}{3}\sqrt{p^2 - q} \left(p^2 - q \right) = \frac{2}{3}(p^2 - q)^{3/2}$$

である。 これが 16/3 に等しいのは $p^2-q=4$ のとき。 よって軌跡は放物線 $q=p^2-4$.

$$X_1 = \{(m,n) \mid m,n \ \text{ti} \ m^2 + n^2 \le 25 \ \text{をみたす正の整数} \}$$

である。

$$m=1$$
 のとき、 $n^2 \le 25-1^2=24$ より、 $n=1,2,3,4$.

$$m=2$$
 のとき、 $n^2 \le 25-4=21$ より、 $n=1,2,3,4$.

$$m=3$$
 のとき、 $n^2 \le 25-9=16$ より、 $n=1,2,3,4$.

$$m=4$$
 のとき、 $n^2 \le 25-16=9$ より、 $n=1,2,3$.

$$m \ge 5$$
のとき、 $n^2 \le 0$ より、 n はない。

以上より、 X_1 の要素の個数は $4 \times 3 + 3 = 15$ 個。

(問 2) 正の整数 m に対し

(m,1) がどのような a>0 に対しても X_a に含まれない

⇔ すべての
$$a > 0$$
 に対して, $m^2a + \frac{1}{a} > 25$ ⇔ すべての $a > 0$ に対して, $m^2a^2 - 25a + 1 > 0$ (4)

である。 2 次関数 $m^2a^2-25a+1$ は $a=\frac{25}{2m^2}>0$ で最小値をとるので

$$(4) \Leftrightarrow 2$$
 次式 $m^2a^2 - 25a + 1$ の判別式 $(-25)^2 - 4m^2$ が負 $\Leftrightarrow m > 25/2$.

このような *m* の最小値は 13.

(問 3) 正整数の組(m,n)に対し,

ある
$$a > 0$$
 に対して, $m^2 a + \frac{n^2}{a} \le 25$
 ⇔ ある $a > 0$ に対して, $m^2 a^2 - 25a + n^2 \le 0$ (5)

である。2 次関数 $m^2a^2-25a+n^2$ は $a=\frac{25}{2m^2}>0$ で最小値をとるので

$$(5) \Leftrightarrow 2$$
 次式 $m^2a^2-25a+n^2$ の判別式 $(-25)^2-4m^2n^2$ が 0 以上 $\Leftrightarrow mn\leqq 25/2$.

この不等式を満たす組(m,n)を求める。m=1のとき、 $1 \le n \le 12$.

m=2 のとき、 $1 \le n \le 6$.

m=3 のとき、 $1 \le n \le 4$.

m=4 のとき、 $1 \le n \le 3$.

m = 5,6 のとき、 $1 \le n \le 2$ 、

 $7 \le m \le 12$ のとき, n = 1.

 $m \ge 13$ のとき, n はない。

以上より、Xの要素の個数は $12+6+4+3+2\times2+1\times6=35$ 個。

 $\boxed{4}$ (問 1) x > 0 のとき, $f(x) := x + \log 3 - \log(x+3) > 0$ を示す。

x>0 のとき $f'(x)=1-\frac{1}{x+3}>0$ なので、f(x) は x>0 で増加関数。 $f(0)=\log 3-\log 3=0$ より、x>0 で f(x)>0 と分かる。

(問 2) $y = \frac{1}{x}$ のグラフを考えることで

$$\int_{1}^{n} \frac{1}{x} dx > \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n}$$

を得る。ここで

(左辺) =
$$[\log x]_1^n = \log n$$

であるから,

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} < \log n$$

を得る。両辺に1を加えて,

$$1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} < 1 + \log n$$

を得る。

(問 3)

$$a_n = \left(3 + \frac{1}{1}\right) \left(3 + \frac{1}{2}\right) \cdots \left(3 + \frac{1}{n}\right)$$

より

$$\log \sqrt[n]{a_n} = \frac{1}{n} \log a_n = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \log \left(3 + \frac{1}{k} \right)$$
 (6)

 $\log 3 < \log \left(3 + \frac{1}{k} \right) \ \, \sharp \ \, \flat$

$$\log 3 < \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} \log \left(3 + \frac{1}{k} \right) \tag{7}$$

(問1), (問2) の不等式を用いて

$$\frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} \log \left(3 + \frac{1}{k} \right) < \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} \left(\frac{1}{k} + \log 3 \right) = \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{n} \frac{1}{k} + \log 3 < \frac{1 + \log n}{n} + \log 3 \quad (8)$$

を得る。(6),(7),(8)より,

$$\log 3 < \log \sqrt[n]{a_n} < \frac{1 + \log n}{n} + \log 3$$

ここで $n \to \infty$ とすると, $\lim_{n \to \infty} \frac{\log n}{n} = 0$ を用いて $\lim_{n \to \infty} \log \sqrt[n]{a_n} = \log 3$ を得る。 よって $\lim_{n \to \infty} \sqrt[n]{a_n} = 3$.